

豊田工科高校のダイナパック迷路

ダイナパックは、工場周辺地域からの採用を積極的に行うとともに、地域の人々との交流も大切にしております。

その活動の一例として、みよし事業所より地元の高校である豊田工科高校の皆さんに段ボールを提供し、文化祭の出し物に使っていただきました。

きっかけになったのは、豊田工科高校からの「文化祭の出し物で迷路を作りたいのですが、段ボールが全然集まりません。どんなものでも構わないので、お譲りいただけないでしょうか」という一本の電話でした。

これを受けて、みよし事業所も文化祭で段ボールを活用してもらえたら喜んで、ということで提供させていただきました。



こちらの写真からも分かる通り、「ダイナパック迷路」と命名されたこの出し物はかなりの力作で、学内で賞を受賞するほどの反響ぶりだったようです。

後日、豊田工科高校の皆さんからお礼の手紙と写真が届きました。高校生の思い出作りに協力できたことを嬉しく思います。



段ボールをいただく際に先生と一緒に伺わせていただきました。山本と申します。教室いよいよ迷路が完成し、生徒はそろそろ多くの先生方に迷路にチャレンジしていただきました。文化祭中はクラスの前で列隊できるほど楽しい。発表ができたクラス発表部門優待賞(第一学年一位)をいただきました。

お忙しい中ご協力くださりましてありがとうございます。

このような活動を続けていくことで、地域の皆様から当社に対し親しみを持っていただき、親交を一層深めていきたいと考えています。
今後も地域の皆様に積極的に協力していく所存です。